

東京市麻布区龍崎所六七

田三富一取

平安



兵庫縣武
庫縣武
兵庫縣武
鳥居赫雄

おとし、意おし、除遠にあり、如何に心か、

前、なる、い程、上京のよ、は、秋、夜、上、に、

あ、い、う、い、儲、取、者、二、月、は、世、是、去、大、い、

三十五、因、忘、善、通、は、今、年、に、丸、を、り、い、三、歳、行、と

この、得、は、い、え、之、唯、追、其、記、念、の、る、去、書、通、傳、歌、日、徳

の、一、部、を、剪、集、し、北、堂、天、極、上、初、衣、三、百、部

を、限、り、印、刷、し、い、何、に、似、ち、な、古、城、野、野、の、い、の

三人細算にあり、中々の為を三と令けにあり、

内に原籍を經の取年月、印利に因す程にあり、

實價は五部五田乃至七田の際定、一若し考へたに

いば友知人に加入せり、友知人は五部、以

上引受の内定にあり、いば三部、夫より酌量

み、いば上は一部代金（夫の）の外は割戻しの長にあり、

一、意や信をやり、せり、いば、借付株のフロント

3.

No.

月 日

母子も引續き死にせしむるに及び、上田仙太郎

女目下滞り病中にて十二月十日終へる所の長にさるる事なり。

是に九甲件(音)の長言(音)あり。

十一月七日
上田仙太郎

上田仙太郎